

Ⅲ 瓦礫の中から復旧に向けて

戦後の混乱の中、人びとは次第に復旧に向けて歩み始めた。住居を失い、生活物資が不足する不自由な生活の中で、買い出しや闇市によって生活を支え困難を克服しながら、交通手段や家屋の復旧に当たっている人びとの様子、さらに国際社会への復帰の糸口ともなる輸出産業の復活に邁進する人びとの様子等、ファインダーを通して外国人が見た戦後の日本を垣間見ることができる。

復旧が始まった横浜

アメリカのブルドーザーが入り、瓦礫を片づける。路面電車を待ちながらその作業に見入る人びと。

- 撮影地 横浜市
- 昭和20年9月5日



秋田の闇市

魚類を売る屋外市場（闇市）。活気にあふれている。

- 撮影地 秋田市
- 昭和21年11月12日

交通整理にあたる警官とMP

日比谷帝国生命館前で交通整理にあたる日本の警官と2人のMP（進駐軍の憲兵隊）。

- 撮影地 東京 日比谷
- 昭和20年9月21日

